

# 平成 23 年度 第 5 回石狩市行政評価委員会

日時：平成 23 年 6 月 9 日（木） 9 時 00 分～

場所：市役所 4 階 401 会議室

企画經濟部 企画課

# 【会議次第】

## 1 開 会

## 2 議 題

(1) 施策「保健・医療の充実」の状況について

## 4 その他

## 5 閉 会

## 平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	保健福祉部健康推進室
めざすまちのテーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち		職名	室長
施策項目	(1)保健・医療の充実		氏名	藤田 隆
			TEL	72-7012


### 【1 施策の目的】

子どもから高齢者まで、各々のライフステージに応じた健康づくりの支援や、医療体制の充実により安心して健やかに暮らせるまちをめざす。

### 【2 計画策定時の状況】

各世代の健康づくりを推進するため、市民が健康的な生活習慣を身につけることが重要となっている。また、増え続ける生活習慣病の予防や、それに関連する食生活をめぐる環境の変化に伴い、食育の推進の重要性が増しており、そのための環境づくりや施策が求められている。 今後は、市民が自らの健康を守る「セルフ・ケア思想」の普及や一人ひとりがそれを実践していくため、保健・医療・福祉・介護・スポーツの連携のもとに、各施策を推進していく必要がある。

### 【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	生活習慣病予防健診等健康診査を定期的(年1回)に受けている人の割合(40歳以上)					%	41.1	
指標2	乳幼児健康診査に満足している保護者の割合					%	66.9	80.0
指標3	朝食を欠食する人の割合(20代から30代)					%	25	15以下
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況		H17実績値 との比較
指標1	41.1	44.0	39.1	39.7	44.3	○		○
指標2	—	—	67.9	75.6	75.0	×		○
指標3	—	18	15.2	19.2	10.7	○		○
指標4								

○到達、×未達      ○向上、×低下

### 【4 現状把握と今後の方向性】

#### (1)現状の評価と課題

- 平成20年度の検診制度の改正により実施している「特定検診」の受診率は依然として低い状況にあるが、生活習慣病予防等健康診査を定期的に受けている人の割合は過去5年間の推移からみると、数値が向上を示してきており、受診率向上に向けた取組みが徐々にではあるが浸透してきているものと思われる。
- 乳幼児検診の満足度については、目標値には到達していないが、ほぼ良好に推移している。さらにモニタリングを継続し、保護者からの要望等を捉えた上で、改善に努めていく。
- 「20代のやせ(痩せ過ぎ)」は年々増加しているが、朝食を欠食する20代から30代は減少している。日々の生活に食事を中心とした健康的な内容を取り入れられるよう、様々な機会に「健康づくりの知識」を普及していくことが必要である。

#### (2)施策を取りまく状況の変化(社会環境の変化、住民、議会等からの要望等)

- 少子高齢化が進む中、社会構造の変化やライフスタイルの変化に伴い、本市では死亡原因はがん、心疾患や脳血管疾患等の生活習慣病が約6割を占めるなど、生活習慣に起因する疾患の増加が著しいことから、市民一人ひとりが生活習慣を見直し、一層の健康増進、発病を予防する一次予防に重点をおいた健康づくりの推進が重要である。
- 本市における国民健康保険の疾病別医療費状況によると「循環器系の疾患」が受診件数、点数とも一番高い状況にあり、内臓脂肪型肥満の問題を抱えている市民が多いことが予想され、重大な生活習慣病にならないために、健診・保健指導の充実が求められている。

#### (3)今後の取り組み方針(改善・改革の方向性)

- 市民が健やかに心豊かに生活できる社会を実現するために、発病を予防する一次予防と、健康を増進するための環境整備に重点を置いた健康づくりの対策と支援を行う、
- ①ライフステージに応じた健康づくり…市民の健康の保持増進を図る各ライフステージに応じた保健・医療施策を進める。
- ②市民主体の健康づくり…市民一人ひとりが健康の大切さや重要性を理解し、健康づくりに向けて自発的に取り組めるよう支援。
- ③健康づくり支援のための環境づくり…行政機関、保健、医療機関、地域、学校、民間事業者、ボランティア団体、NPO(特定非営利法人)など様々な関係者が連携・協力し、気軽に健康づくりを実践できる環境づくりを総合的に進める。
- ④「元氣」を増やす健康づくり…健康づくりは疾病対策だけでなく、こころや体の元氣づくり、生きがいづくりや住み良い地域づくりが大切であり、「病気を減らす健康づくりから、元氣を増やす健康づくりへ」という考え方のもとに、市民一人ひとりの「元氣づくり」を進める。

【5 パブリックコメント】

--

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見
(2)今後の方向性に関する意見
(3)施策等に関する評価意見

【7 行政評価会議（最終評価）】

(1)重点的に取り組む事項(新に取り組む事業、規模拡大を図る事業等)
(2)見直しすべき事項(廃止、縮小、統合、改善を図る事業等)
(3)その他特記事項



施策名 保健・医療の充実

	人件費	事業費	総コスト	市民一人あたり
平成22年度施策コスト	254,990	435,031	690,021 千円	11,312 円

施策の体系		担当課	H22決算					現状の課題 (課長評価1次)	今後の方向性 (課長評価1次)
			人工 (関係課含む)	特定財源		一般財源			
目次No.	事業名				うち地方債	一般財源	事業費計		
①健康づくりの推進と情報の発信									
3-1	1 地域健康づくり支援事業	保健推進課	2.09	28	-	13	41	キーパーソンの発掘と育成が必要であるが、高齢化などにより人材が不足している。	健康意識が高まる中、地域の健康づくり活動が継続して実施できるよう、連携した取り組みを進めていく。
3-2	2 こころの健康推進事業	保健推進課	0.10	252	-	-	252	現状では、自殺者・未遂者の情報を得にくい状況になっている。	うつ病や自殺予防に関する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、受け皿としての相談体制を整備していく。
3-3	3 保健センター管理運営事業	保健推進課	0.19	-	-	4,582	4,582	一般開放(運動器具)の利用者数が減少している。	一般開放の利用促進を図るため、市HP、広報、自治会回覧などによるPRを行う。
3-4	4 浜益保養センター管理運営事業	地域包括支援センター	0.30	-	-	9,078	9,078	利用者が年々減少している。また、開設後年数を重ね施設の老朽化が進んでいる。	他施設との提携や各方面へのPRに努め、利用者増を図る。
②ライフステージに応じた健康づくりの充実									
3-5	5 成人検診事業	保健推進課	2.37	2,929	-	20,208	23,137	各がん検診受診率が、いずれも全道平均(H21実績:胃11.6%、肺11.6%、大腸14.0%)を下回る状況となっている。	市民の健康意識の高揚を図ることや地域との協働による周知啓発の強化。また、特定対象者の検診料金の軽減なども検討。
3-6	6 健康増進事業	保健推進課	1.99	1,543	-	1,701	3,244	事業参加者の年代が高齢者に偏っており、本来対象とすべき働き盛り世代が少ない。	H23年度に策定予定の「石狩市健康づくり計画」に沿って、取り組みを進める。
3-7	7 母子相談・指導事業	保健推進課	2.65	-	-	351	351	・5歳児健康相談(試行)の認知度が低い。 ・市外通園児への事後対応の体制整備について検討が必要。	5歳児健康相談をH23年度は市内4ヶ所から7ヶ所、H24年度以降は可能な限り全園に拡大していく。
3-8	8 母子健康診査事業	保健推進課	2.47	8,538	-	23,931	32,469	虐待の早期発見のため、乳幼児健康診査未受診者への迅速な対応が必要となっている。	母性及び乳幼児の健康増進、異常の早期発見のため、受診勧奨や健診後の事後フォローを今後とも進める。
3-9	9 赤ちゃん訪問事業	保健推進課	1.28	1,112	-	-	1,112	長期里帰りや入院中で連絡が取れない、訪問拒否等の場合がある。	訪問率の向上を図るため、長期不在者や訪問拒否者などへの対応を強化する。
3-10	10 女性のがん検診促進事業	保健推進課	0.20	5,036	-	5,017	10,053	初回受診者及び若年者の受診率は従来よりも伸びているが、全体としての受診率向上に結びついていない。	若い世代や初回受診者が継続して受診できるよう、受診しやすい検診体制の整備と積極的な受診勧奨を行っていく。
3-11	11 特定保健指導事業	保健推進課	1.96	132	-	326	458	特定保健指導の前提となる「特定健康診査」の受診率が極端に悪い。	積極的に個別勧奨を行い、実施率の向上を図る。
-	12 子宮頸がん等ワクチン接種事業	保健推進課	0.20	9,302	-	10,389	19,691	この事業は本年度事業評価対象外ですが、「市民一人あたりの事業費」を算出するために記載しています。	
-	13 新型インフルエンザワクチン接種助成事業	保健推進課	0.40	2,639	-	880	3,519		
-	14 母子健康手帳等交付事業	保健推進課	0.55	-	-	38	38		
-	15 感染症等予防対策事業	保健推進課	1.19	4,022	-	41,956	45,978		
③地域医療・救急医療体制の充実									
3-12	16 地域医療支援事業	保健推進課	0.04	-	-	14,300	14,300	受診者数の減や診療報酬の変化により、収支が悪化傾向にある。	・H24年度以降の拠出金は、過去の決算状況を勘案する。 ・補助対象経費等の一定のルール化、要綱の見直しを行う。
3-13	17 浜益国民健康保険診療所運営事業	浜益国民健康保険診療所	5.50	34,265	-	44,856	79,121	浜益区の人口減少や、診療報酬点数の減額改定の影響等から、診療収入の減少傾向が続いている。	引き続き採算性の向上のため、診療体制の強化や経常コストの削減等の努力を行っていく。
④その他									
3-14	18 後期高齢者医療特別会計運営事務(保健事業)	国民健康保険課	0.15	2,949	-	317	3,266	・改めて受診する必要の無い被保険者が多い。(健康診査) ・実施期間終了近くにキャンセルする者がある。(脳・人間ドック)	・現状どおり継続。(健康診査) ・期間内に受診するよう勧奨を行っていく。(脳・人間ドック)
-	19 健康づくり計画策定管理業務	保健推進課	0.30	-	-	76	76	この事業は本年度事業評価対象外ですが、「市民一人あたりの事業費」を算出するために記載しています。	
-	20 重度心身障がい者医療費給付事務	国民健康保険課	1.35	112,409	-	53,048	165,457		
-	21 後期高齢者医療特別会計運営事務(資格・給付)	国民健康保険課	1.30	15,629	-	-	15,629		
-	22 後期高齢者医療特別会計運営事務(賦課)	国民健康保険課	1.30	3,179	-	-	3,179		
合 計			27.88	203,964	-	231,067	435,031		

# 平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	3 - 1	事業名	地域健康づくり支援事業							
総合計画	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち							
	策	1	保健・医療の充実							
	策(小)	1	健康づくり推進と情報の発信							
平成23年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	竹瀬 麻紀	電話	72-3124	内線	9134
平成22年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	竹瀬 麻紀				
予算科目	会計	一般会計 ( 4 款 1 項 3 目 )		事業名	健康増進事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	健康増進法									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 58 年度 ~ 永続 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	・町内会や高齢者クラブなど地域団体	→	対象数 140 団体
	・障がいなどで医療や健康の支援が必要な方	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	健康づくりに関する知識の普及や生活の質の向上を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	・地域団体から依頼等により、保健師や栄養士などによる健康教育、健康相談などを実施 ・相談を当事者又は関係者より受け保健師や栄養士などが訪問を実施 ・健康づくり講座の開催(参加料: 1回200円、食材及びテキスト代:500円)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	健康増進法		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
花川南第5町内会との協働提案事業及び花川南栄町内会で年4回の健康づくり講座を実施し、町内会との連携強化を図った。			

事業の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円	10	10	8	8
			地方債	千円				
			その他	千円		20	20	20
			一般財源	千円	2	10	13	87
	小計(A)			千円	12	40	41	115
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.50	1.50	1.50	特定財源名及び補助率・充当率  ・健康増進事業費補助 (2/3 道費) ・自己負担金
		正職員(両支所市民生活課)		人	0.59	0.59	0.59	
		従事正職員の人件費		千円	9,663	19,115	19,115	
		その他間接経費		千円				
		小計(B)		千円	9,663	19,115	19,115	
総コスト(A)+(B)			千円	9,675	19,155	19,156		

事業費の 使途等	・町内会等健康づくり支援	31千円(健康運動指導士報償費 外)
	・口腔ケア相談	10千円(歯科衛生士賃金)

3 - 1 地域健康づくり支援事業

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	地域健康教育・健康相談実施回数	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	28	50	40	
			達成率				
	家庭訪問件数(母子を除く)	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	285	254	217	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	地域健康教育・健康相談参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,015	2,198	1,271	
			達成率				
	家庭訪問人数(母子を除く)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	121	173	156	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				


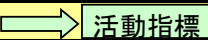
課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い	補助金の活用や一定程度の自己負担をいただく中で概ね効率的な事業実施が図られている。
		○ 概ね達成			● 概ね効率的	
	○ 達成していない	● 低い				
	● かなりある		妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい	
● 多少ある	● 小さい					
○ さほどない		● ない				
現状の課題			地域において活動を継続していくためには、キーパーソンの発掘と育成が必要であるが、高齢化などにより人材が不足している。			
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ● 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他				
		健康意識が高まる中、地域の健康づくり活動が継続して実施できるよう、連携した取り組みを進めていく。				
	事業コスト	○ 増加    ● 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他				
		地域との協働や関係団体との連携により現行のコスト水準を維持する。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長					
市民意見等に対する回答			反映				
			一部反映				
			不採用				
			実施済み				
			参考				
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
			概ね達成			概ね効率的	
			達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
			高い			小さい	
			高くない			ない	
現状の課題							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他					
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他					

# 平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	3 - 2	事業名	こころの健康推進事業							
総合計画	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち							
	策	1	保健・医療の充実							
	策(小)	1	健康づくりの推進と情報の発信							
平成23年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	宮森 明美	電話	72-3124	内線	9140
平成22年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	宮森 明美				
予算科目	会計	一般会計 (4款 1項 3目)			事業名	精神保健福祉事業費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務         → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	自殺対策基本法									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 19 年度 ~ 永続 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市民	→	対象数 61,000 人
	関係機関(企業・相談機関等)	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 		
	自殺者が増加していることを踏まえ、こころの健康や相談機関等に関する知識を持たせ、適切な行動を取ることができるようにする。また、地域の関係機関が連携し、悩みを抱える人への支援を行えるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 		
	・一般市民向けに精神科医師や司法書士等による講演会を開催。 ・介護事業従事者、民生委員、相談窓口担当者を対象にしたゲートキーパー養成研修の開催。 (ゲートキーパー:家族や地域、職場、保健、医療、教育等の場面で、自殺の危険性の高い人の早期発見、早期対応を図るため、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、見守りや、必要に応じて専門相談機関へつなぐなど適切な対応を図る役割が期待される人材。) ・自主制作DVDを活用した出前講座の実施。 ・広報紙やイベントでの周知啓発活動。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	全国では年間自殺者3万人以上の自殺者が12年間続いている状況で、石狩市でも年間10人~15人の自殺者がいる。自殺の原因は様々で、その対策は個人のレベルを超え、社会全体で取り組むべき課題となっている。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
議会から、相談窓口の設置要望があった。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
・ゲートキーパーの養成研修(介護事業者向け)を開催。18人が受講し、自殺予防に対する関心を深めてもらうことが出来た。 ・出前講座で利用するDVDを作成した。			

事業の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円		50	252	512
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円				
			小計(A)	千円	0	50	252	512
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.01	0.10	特定財源名及び補助率・充当率  北海道地域自殺対策緊急強化推進事業補助金10/10 (H24年度まで)	
		正職員( )	人					
		従事正職員の人件費	千円	0	91	915		
		その他間接経費	千円					
		小計(B)	千円	0	91	915		
総コスト(A)+(B)			千円	0	141	1,167		

事業費の 使途等	・市民講演会経費	60千円
	・企業向けPR経費	92千円
	・DVD作成委託費	100千円

3 - 2 こころの健康推進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	市民講演会開催回数	回	目標値	-	1	1	1
			実績値	-	1	1	
			目標: 予算措置数		100.0	100.0	
	ゲートキーパー等研修会の開催回数	回	目標値	-	-	1	2
			実績値	-	-	1	
			目標: 予算措置数			100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位		H20	H21	H22	H23
	市民講演会参加人数	人	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	130	99	
			達成率				
	ゲートキーパー等研修会参加人数	人	目標値	-	-	未設定	未設定
			実績値	-	-	18	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	必要最小限の経費で講演会等を開催しており、概ね効率的な事業実施が図られている。
			概ね達成				概ね効率的	
		●	達成していない				低い	
	成果の向上余地	●	かなりある	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	●	大きい	市民がこころの健康や自殺を身近な問題として捉えることができず、防ぐことの出来る自殺への対策が進まなくなる。
		多少ある				小さい		
		さほどない				ない		
現状の課題		自殺対策は、予防だけでなくとどまらず、自死遺族や自殺未遂者への対策も含めたものであるが、現状では、自殺者・未遂者の情報を得にくい状況になっている。						
今後の方向性	事業内容	● 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他 うつ病や自殺予防に関する正しい知識の普及啓発(睡眠キャンペーン・自殺予防ハンドブック作成等)を進めるとともに、受け皿としての相談体制(行政・ゲートキーパー)を整備していく。						
	事業コスト	● 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他 市での取り組みは、今年度から本格的に始まったものであり、今後の施策展開にあたっては、現在の全額補助事業から市単独の財源による予算の増額が見込まれる。						

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他				
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

<b>整理番号</b>		<b>3 - 3</b>		<b>事業名</b>		保健センター管理運営事業																
<b>総合計画</b>	テ　　一　　マ			2		健康でしあわせに暮らすまち																
	施　　　　　策			1		保健・医療の充実																
	施 策（小）			1		健康づくりの推進と情報の発信																
平成23年度担当		所管		健康推進室 保健推進課			課長		我妻 信彦		担当		鈴木 啓之		電話		72-6124		内線		9132	
平成22年度担当		所管		健康推進室 保健推進課			課長		我妻 信彦		担当		中川 正人									
予算科目		会 計		一般会計			（ 4 款 1 項 1 目 ）			事業名		保健センター管理運営費										
事務分類				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務            →（裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い）																		
実施形態				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他																		
根拠法令、条例等				石狩市保健センター条例																		
事業期間				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度 ～ 未定 年度																		

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	厚田区民	→	対象数 2,500 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	厚田区民の疾病の予防及び健康維持・増進を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	保健センターの管理運営を行う。 ・施設の維持管理。 ・開館時間 午前8時45分から午後5時15分		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成17年9月、地域保健法に基づく保健事業の拠点施設として旧厚田村に設置。合併後も引き続き管理運営を行っている。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				27
			一般財源	千円	4,881	4,700	4,582	5,559
	小計(A)			千円	4,881	4,700	4,582	5,586
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.02	0.02	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員( 厚)市民生活課 )		人	0.54	0.54	0.18	
		従事正職員の人件費		千円	4,964	5,122	1,737	
その他間接経費		千円						
小計(B)		千円	4,964	5,122	1,737			
総コスト(A)+(B)			千円	9,845	9,822	6,319		
事業費の 使途等	保健センターの維持管理経費							
	・光熱水費			2,538千円				
	・通信運搬費			202千円				
	・施設維持等業務委託料			1,658千円				
	・その他事務費等			184千円				

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	開館日数	日	目標値	244	243	243	244
			実績値	244	243	243	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	健診・介護予防事業等利用者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,719	2,002	2,119	
			達成率				
	運動器具利用者数(一般開放)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	158	148	92	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				



課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	必要最小限の経費で概ね効率的な事業実施が図られている。
		● 概ね達成			● 概ね効率的	
		達成していない			低い	
	成果の向上余地	かなりある	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい	
● 多少ある		小さい				
さほどない		ない				
現状の課題		一般開放(運動器具)の利用者数が減少している。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ● 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他				
		一般開放の利用促進を図るため、市HP、広報、自治会回覧などによるPRを行う。				
	事業コスト	○ 増加    ● 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他				
		引き続き最小限のコストで事業実施を図っていく。				

事業に対する市民意見等						

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他				
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	3 - 4	事業名	浜益保養センター管理運営事業							
総合計画	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち				3	元気で活力あるまち		
	策	1	保健・医療の充実				4	観光の振興		
	施 策 (小)	1	健康づくりの推進と情報の発信				1	観光資源の活用・整備・宣伝		
平成23年度担当	所管	保健福祉部 地域包括支援センター	課長	久保田 道子	担当	酒井 浩嗣	電話	72-7017	内線	9147
平成22年度担当	所管	保健福祉部 地域包括支援センター	課長	久保田 道子	担当	酒井 浩嗣				
予算科目	会 計	一般会計 ( 4 款 1 項 4 目 )				事業名	保養センター管理運営費			
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務   → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	石狩市保養センター条例									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 63 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市民	→	対象数 61,000 人
	市外からの来館者	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	・健康増進と福祉の向上及びふれあいの場の充実促進を図る。 ・浜益地域における観光施設の一つとして利用客の増大を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	社会福祉法人石狩市社会福祉協議会を指定管理者(H21~H24までの契約)として、施設の運営管理を行う。 ・来館者に温泉入浴、食事等のサービスを提供する。 (入館料:大人500円、小児250円 貸室料:一人2時間以内200円、1時間増毎に100円) ・施設の適正な維持管理が実施されるよう指導・監督する。 ・福祉サービスの実施。 (心身障がい者の無料化、市内高齢者の割引) ・地元特産品の販売、施設PR(ポスターの作成・掲示)の実施。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	健康増進及び地域の振興施策として、昭和63年に保養センターが整備された。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
・地元客の優待や区内で公共工事を行う関係者へ営業を行い、利用客の増加が図られた。 ・物販を強化し、売上げが伸びた。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	26,086	8,947	9,078	12,080
	小計(A)		千円	26,086	8,947	9,078	12,080
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.40	0.30	0.30	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員( )	人				
		従事正職員の人件費	千円	3,546	2,660	2,744	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	3,546	2,660	2,744	
	総コスト(A)+(B)		千円	29,632	11,607	11,822	

事業費の使途等	【委託料】 施設維持管理 8,556千円 【修繕料】 施設修繕費 499千円 【公共用地賃借料】 送湯管埋設(占有料) 14千円 【その他事務経費】 9千円
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	開設日数	日	目標値	354	353	353	353
			実績値	353	351	351	
			達成率	99.7	99.4	99.4	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	利用者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	74,171	69,590	65,070	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い	H21年から浜益地区の福祉施設と一体管理による指定管理者制度を導入し、効率的に運用している。
	成果の向上余地	<input checked="" type="radio"/> かなりある <input type="radio"/> 多少ある <input type="radio"/> さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	<input checked="" type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない	浜益地区において重要な地域振興及び健康増進施設であることから影響は大きい。
現状の課題		利用者が年々減少している。また、開設後年数を重ね施設の老朽化が進んでいる。				
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他 他施設との提携や各方面へのPRに努め、利用者増を図る。				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input checked="" type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他 引き続き必要最小限の予算措置を講じて施設を維持していく。				

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	<input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 概ね達成 <input type="radio"/> 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	<input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 概ね効率的 <input type="radio"/> 低い	
	施策への貢献度からみた優先度	<input type="radio"/> 極めて高い <input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 高くない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	<input type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 小さい <input type="radio"/> ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行通り <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="radio"/> その他				
	事業コスト	<input type="radio"/> 増加 <input type="radio"/> 現行水準 <input type="radio"/> 減少 <input type="radio"/> 予算なし <input type="radio"/> その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

<b>整理番号</b>		<b>3 - 5</b>		<b>事業名</b>		成人検診事業							
<b>総合計画</b>	テ	一	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち								
	施策			1	保健・医療の充実								
	施策（小）			2	ライフステージに応じた健康づくりの充実								
平成23年度担当		所管		健康推進室 保健推進課		課長	我妻 信彦	担当	鈴木 美佳	電話	72-3124	内線	9133
平成22年度担当		所管		健康推進室 保健推進課		課長	我妻 信彦	担当	鈴木 美佳				
予算科目		会計		一般会計（4款1項3目）				事業名		成人保健対策事業費			
事務分類				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務            →（裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い）									
実施形態				<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等				健康増進法、がん対策基本法									
事業期間				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 57 年度 ～ 永続 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	・職場等で受診機会のない市民(胃・肺・大腸がん検診:40歳以上)	→	対象数 17,000 人
	・職場等で受診機会のない市民(乳がん:40歳以上、子宮頸がん:20歳以上 それぞれ2年度に1回)	→	対象数 25,000 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	各がん検診などを実施し、病気の早期発見・早期治療に結びつける。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	【集団検診】～ 10日間:胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん 【バス送迎検診】～ 9日間:胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん 【個別検診】～ 16医療機関:胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん 【その他】～ 委託検診機関との調整、日程周知(ホームページ、広報、町内会回覧など)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	健康増進計画『健康いしかり21』		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
議会から、検診率向上のための取り組みを求められている。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
周知活動(町内会回覧、個別周知など)を強化し、1割程度の受診増加が図れた。			

事業の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)	
				千円					
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			道支出金	千円	953	835	669	742	
			地方債	千円					
			その他	千円	6,520	3,263	2,260	3,756	
			一般財源	千円	28,629	20,430	20,208	24,958	
	小計(A)			千円	36,102	24,528	23,137	29,456	
	人件費等	正職員従事人数(担当課)			人	2.00	1.80	1.80	特定財源名及び補助率・充当率  ・健康増進事業費補助 で肝炎、歯、骨検診の み道補助(1/3) ・自己負担金
		正職員(両支所市民生活課)			人	0.57	0.57	0.57	
従事正職員の人件費			千円	22,783	21,676	21,676			
その他間接経費			千円						
小計(B)			千円	22,783	21,676	21,676			
総コスト(A)+(B)			千円	58,885	46,204	44,813			
事業費の 使途等	・検診委託料 22,554千円 ・その他事務費等 583千円(賃金、原簿印刷製本費等)								

3 - 5 成人検診事業

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	胃がん検診受診数	人	目標値	2,503	2,313	2,165	1,845
			実績値	2,040	1,941	1,804	
			達成率	81.5	83.9	83.3	
	肺がん検診受診数	人	目標値	2,218	1,992	2,055	1,632
			実績値	1,826	1,799	1,679	
			達成率	82.3	90.3	81.7	
	大腸がん検診受診数	人	目標値	2,558	2,555	2,300	2,055
			実績値	2,173	2,078	1,961	
			達成率	84.9	81.3	85.3	
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	胃がん検診受診率	%	目標値	17.0	17.0	17.0	17.0
			実績値	11.9	11.3	10.6	
			達成率	70.0	66.5	62.4	
	肺がん検診受診率	%	目標値	17.0	17.0	17.0	17.0
			実績値	10.7	10.5	9.8	
			達成率	62.9	61.8	57.6	
	大腸がん検診受診率	%	目標値	17.0	17.0	17.0	17.0
			実績値	12.7	12.1	11.5	
			達成率	74.7	71.2	67.6	

課長評価(1次)								
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	補助金の活用や一定程度の自己負担をいただく中で概ね効率的な事業実施が図られている。
			概ね達成				概ね効率的	
		●	達成していない				低い	
	成果の向上余地		かなりある	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	●	大きい	職場などで受診する機会のない方(自営業、主婦、退職者)を対象に実施しているため、受診機会の減少による影響は大きい。
●		多少ある				小さい		
		さほどない				ない		
現状の課題		各がん検診受診率が、いずれも全道平均(H21実績:胃11.6%、肺11.6%、大腸14.0%)を下回る状況となっている。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充   ○ 現行通り   ● 改善   ○ 縮小   ○ 廃止・休止   ○ その他 受診率の向上のため、市民の健康意識の高揚を図ることや地域との協働による健康づくりの中で周知啓発を強化していく。また、特定対象者の検診料金の軽減なども検討していく。						
	事業コスト	○ 増加   ● 現行水準   ○ 減少   ○ 予算なし   ○ その他 引き続き最小限のコストで事業継続を図っていく。						

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他				
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号		3 - 6		事業名		健康増進事業								
総合計画	テ	一	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち									
	施		策	1	保健・医療の充実									
	施 策 ( 小 )		2	ライフステージに応じた健康づくりの充実										
平成23年度担当		所管		健康推進室 保健推進課		課長	我妻 信彦		担当	竹瀬 麻紀	電話	72-3124	内線	9134
平成22年度担当		所管		健康推進室 保健推進課		課長	我妻 信彦		担当	竹瀬 麻紀				
予算科目		会 計		一般会計 ( 4 款 1 項 4 目 )				事業名		健康増進事業費				
事務分類				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務            → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等				健康増進法										
事業期間				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 62 年度 ~ 永続 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	概ね18歳以上の市民	→	対象数 37,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	市民の健康増進、生活習慣病予防を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育事業(入門ダイエット講座3回1クール、体の中からダイエット講座6回1クール)/女性の健康づくり講演会(1回) 問診、栄養・生活習慣病予防・運動実技指導の実施</li> <li>健康相談(結果説明会含む)事業(定例健康相談年12回、骨の健康相談年2回、結果説明会年6回実施) 保健師相談、栄養士相談、結果説明会は委託機関の医師により、生活習慣病予防の指導や検診結果の見方などの説明</li> <li>個別健康運動指導事業(フリープラン年間248日開設) 1回300円、初回は予約し保健師による問診指導の実施、栄養士相談 委託業務(体力測定や運動プログラム作成/運動マシンの保守点検)</li> </ul>		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	健康増進法及び健康増進計画『健康いしかり21』に基づき実施		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
	町内会との協働提案事業により、健診結果説明会を花川南地区の会館で2回実施した。		

事業の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円	173	261	550	393
			地方債	千円				
			その他	千円	1,088	887	993	822
			一般財源	千円	1,607	1,319	1,701	1,590
	小計(A)			千円	2,868	2,467	3,244	2,805
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	1.00	1.20	1.20	特定財源名及び補助率・充当率  ・健康増進事業費補助 (2/3 道費) ・自己負担金
		正職員(両支所市民生活課)		人	0.79	0.79	0.79	
		従事正職員の人件費		千円	15,868	18,200	18,200	
その他間接経費		千円						
小計(B)		千円	15,868	18,200	18,200			
総コスト(A)+(B)			千円	18,736	20,667	21,444		
事業費の 使途等	・健康教育事業 99千円(健康運動指導士報償費他)							
	・健康相談事業 300千円(検診結果説明業務委託他)							
	・フリープラン事業 2,322千円(運動指導業務委託他)							
	・血管年齢測定器購入 462千円							
	・その他事務費等 61千円							

3 - 6 健康増進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	健康教育事業実施延回数	回	目標値	14	12	11	20
			実績値	12	12	10	
			目標:事業計画	達成率	85.7	100.0	90.9
	健康相談事業実施延回数	回	目標値	22	22	18	20
			実績値	22	23	20	
			目標:事業計画	達成率	100.0	104.5	111.1
	個別健康運動指導事業(フリープラン)実施日数	日	目標値	251	247	248	248
			実績値	251	247	248	
			目標:事業計画	達成率	100.0	100.0	100.0
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	健康教育事業参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	151	173	207	
			達成率				
	健康相談者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	208	240	201	
			達成率				
	個別健康運動指導事業(フリープラン)利用者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	5,471	4,687	4,472	
			達成率				



課長評価(1次)					
有効性	事業の成果についての検証	達成 ● 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	高い ● 概ね効率的 低い
	成果の向上余地	かなりある ● 多少ある さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない
	現状の課題	事業参加者の年代が高齢者に偏っており、本来対象とすべき働き盛り世代が少ない。			
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 H23年度に策定予定の「石狩市健康づくり計画」に沿って、取組みを進める。			
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 引き続き最小限のコストで事業実施を図っていくが、計画の実施に伴い事業費の増加も考えられる。			

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
		高くない				ない		
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他						
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他						

# 平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	3 - 7	事業名	母子相談・指導事業							
総合計画	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち							
	策	1	保健・医療の充実							
	策(小)	2	ライフステージに応じた健康づくりの充実							
平成23年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	二上 真弓	電話	72-3124	内線	9140
平成22年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	二上 真弓				
予算科目	会計	一般会計 (4款 1項 3目)			事業名	母子保健対策事業費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務         → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	母子保健法									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 9 年度 ~ 永続 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	乳幼児と保護者	→	対象数 600 世帯
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	育児や成長発達に関する相談や母親同士の交流の機会を提供する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	・発育や育児の相談の場として乳幼児健康相談の実施。(乳幼児を対象に月1回開催) ・親子遊びの提供や親の交流を深める場の提供として教室を実施。(5～7ヶ月児対象の子育て広場年4回) ・精神・言語発達や育児についての相談指導。(発達相談月1回) ・電話や訪問、来所にて保健指導及び養育支援を実施。(随時)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	・少子化、核家族化により子育て経験の少ない母親が多くなっている。 ・石狩市次世代育成支援行動計画「こども・あいプラン」		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
・5歳児(年中児)健康相談を4回実施し、72人が参加した。 ・保育園と幼稚園でも実施したため、要支援児の把握とともに、関係機関の連携強化につながった。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	157	166	351	647
		小計(A)	千円	157	166	351	647
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	2.00	2.00	2.00	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(両支所市民生活課)	人	0.65	0.65	0.65	
		従事正職員の人件費	千円	23,492	24,237	24,237	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	23,492	24,237	24,237	
		総コスト(A)+(B)	千円	23,649	24,403	24,588	

事業費の 使途等	・こども発達相談事業費	177千円
	・5歳児健康相談事業費	67千円
	・子育て交流会事業費	65千円
	・その他事務費等	42千円

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	相談実施数(発達・乳幼児・5歳児)	回	目標値	26	26	26	31
			実績値	25	26	29	
			達成率	96.2	100.0	111.5	
	教室開催回数(子育て交流会等)	回	目標値	20	20	20	20
			実績値	20	23	20	
			達成率	100.0	115.0	100.0	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	相談利用者数(発達・乳幼児・5歳児)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	893	900	808	
			達成率				
	教室参加者数(子育て交流会等)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	150	152	179	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い	保育園・幼稚園との連携により、効率的に要支援児の早期把握や相談指導の実施が図られた。
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	成果の向上余地	● かなりある			妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響
● 多少ある		小さい				
さほどない		ない				
現状の課題		・5歳児健康相談の試行を市内保育園・幼稚園で行っているが、認知度が低い。 ・市外通園児への事後対応の体制整備について検討が必要。				
今後の方向性	事業内容	● 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他 5歳児健康相談は、H22年度に市内4ヶ所で実施したが、H23年度は市内7ヶ所、H24年度以降は可能な限り全園に拡大していく。				
	事業コスト	● 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他 5歳児健康相談を本格実施した場合、事業費の増加が見込まれる。				

事業に対する市民意見等						

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他				
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他				

# 平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	3 - 8	事業名	母子健康診査事業							
総合計画	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち							
	策	1	保健・医療の充実							
	策(小)	2	ライフステージに応じた健康づくりの充実							
平成23年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	二上 真弓	電話	72-3124	内線	9140
平成22年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	二上 真弓				
予算科目	会計	一般会計 (4款 1項 3目)		事業名	妊婦健康診査事業費・母子保健対策事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務         → (裁量性) <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	母子保健法、妊婦健康診査臨時特例交付金(妊婦健康診査支援基金)交付要綱									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 40 年度 ~ 永続 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	妊婦	→	対象数 400 人
	4ヶ月児・10ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児と保護者	→	対象数 1,700 世帯
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	<div>成果指標</div> 疾病や異常の早期発見、育児不安の解消などにより、母子の健康保持及び増進を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	<div>活動指標</div> 【妊婦健康診査】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届を受理して14回分受診票を発行する。</li> <li>・妊婦は受診の際に受診票を医療機関に提出して助成を受ける。</li> <li>・医療機関は市へ費用の請求をする。健康診査の結果はシステムに入力する。</li> </ul> 【乳幼児健康診査】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体計測・診察・問診と保健指導・栄養や歯科指導・(BCG接種)・(発達相談)を実施する。</li> <li>・健診結果はシステムに入力し、事後指導の参考とする。</li> </ul>		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	・乳幼児健診は、母子保健法に基づき実施。 ・妊婦健康診査は、H21年度に従来の5回分から14回分の公費負担に拡充され、国の交付金事業として実施している。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
議会から、乳幼児健診の未受診状況及び対応について質問があった。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
未受診者の状況把握を行うために必要な庁内関係部署からの情報提供について、個人情報保護審査会から答申を受け、迅速な対応が可能となった。			

事業 の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円		9,239	8,538	13,514
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	13,977	20,838	23,931	22,742
	小計(A)			千円	13,977	30,077	32,469	36,256
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	2.00	2.00	2.00	特定財源名及び補助率・充当率  妊婦健康診査臨時特例 交付金(1/2)
		正職員(両支所市民生活課)		人	0.47	0.47	0.47	
		従事正職員の人件費		千円	21,897	22,591	22,591	
		その他間接経費		千円				
		小計(B)		千円	21,897	22,591	22,591	
	総コスト(A)+(B)			千円	35,874	52,668	55,060	

事業費の 使途等	・妊婦健康診査事業	28,122千円(健診委託料 外)
	・乳幼児健診事業	4,347千円(健診医師報酬 外)

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	妊婦健康診査受診票使用実人員	人	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		561	585	
			達成率				
	乳幼児健診実施回数	回	目標値	48	48	48	48
			実績値	48	48	48	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	目標:事業計画		目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	妊婦健康診査受診件数	件	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		4,489	4,553	
			達成率				
	乳幼児健診受診数	人	目標値	1,939	1,948	1,772	1,615
			実績値	1,832	1,824	1,676	
			達成率	94.5	93.6	94.6	
	目標:全該当年齢対象児		目標値	80	80	80	80
			実績値	68	72	75	
			達成率	85.0	90.0	93.8	
成果指標	乳幼児健診に満足している保護者の割合	%	目標値	80	80	80	80
			実績値	68	72	75	
			達成率	85.0	90.0	93.8	
成果指標	目標:総合計画		目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い	必要最小限の経費で概ね効率的な事業実施が図られている。
		概ね達成			● 概ね効率的	
		達成していない			低い	
	成果の向上余地	● かなりある	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい	妊婦及び乳幼児に対する健康の保持及び増進の機会が減少する影響は大きい。
● 多少ある		小さい				
さほどない		ない				
現状の課題		虐待の早期発見のため、乳幼児健康診査未受診者への迅速な対応が必要となっている。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ● 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他				
		母性及び乳幼児の健康増進、異常の早期発見のため、受診勧奨や健診後の事後フォローを今後とも進める。				
	事業コスト	○ 増加    ● 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他				
		引き続き最小限のコストで事業実施を図っていく。				

事業に対する市民意見等						

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他				
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他				

## 平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号		3 - 9		事業名		赤ちゃん訪問事業												
総合計画	テ	一	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち													
	施策			1	保健・医療の充実													
	施策（小）			2	ライフステージに応じた健康づくりの充実													
平成23年度担当		所管		健康推進室 保健推進課			課長	我妻 信彦		担当	田原 美穂		電話	72-3124		内線	9140	
平成22年度担当		所管		健康推進室 保健推進課			課長	我妻 信彦		担当	岩本 瑞恵							
予算科目		会計		一般会計（4款1項3目）					事業名		赤ちゃん訪問事業費							
事務分類				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務            →（裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い）														
実施形態				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他														
根拠法令、条例等				母子保健法及び児童福祉法														
事業期間				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 19 年度 ～ 未定 年度														

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭(転入、石狩市への里帰りを含む)	→ 対象数	400 世帯
		→ 対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	保護者の子育て不安の解消と支援が必要な家庭の早期把握。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	保健師による家庭訪問を実施し、 ・乳児(新生児を含む)の発育発達の観察。 ・母親および家族の心身の状況の確認。 ・育児上の不安に対応した保健指導及びサービスに関する情報提供。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市母子保健計画、石狩市次世代育成支援行動計画「こども・あいプラン」		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
・出生児全数訪問となったことにより、第2子以降の保護者から、兄弟の育児相談ができることについて良い評価を得ている。 ・議会から事業の継続要望がある。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
新たな予防接種が公費負担になったため、周知に努めた。			

事業の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,142	1,068	1,112	1,104
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円				
	小計(A)			千円	1,142	1,068	1,112	1,104
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.00	1.00	1.00	特定財源名及び補助率・充当率  次世代育成支援交付金 10/10	
		正職員(両支所市民生活課)	人	0.28	0.28	0.28		
		従事正職員の人件費	千円	11,347	11,707	11,707		
その他間接経費		千円						
小計(B)		千円	11,347	11,707	11,707			
総コスト(A)+(B)			千円	12,489	12,775	12,819		
事業費の 使途等	・臨時保健師賃金 1,107千円							
	・その他事務費等 5千円							

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	赤ちゃん訪問実施世帯数	世帯	目標値	442	393	382	400
			実績値	411	355	375	
			達成率	93.0	90.3	98.2	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	支援が必要な家庭に対する支援実施件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	128	101	83	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	訪問計画を策定し、専任の非常勤保健師により訪問を行っており、概ね効率的である。
		●	概ね達成			●	概ね効率的	
		達成していない				低い		
	成果の向上余地		かなりある			妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	
●		多少ある		小さい				
		さほどない		ない				
現状の課題		長期里帰りや入院中で連絡が取れない、訪問拒否等の場合がある。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ● 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他						
		訪問率の向上を図るため、長期不在者や訪問拒否者などへの対応を強化する。						
	事業コスト	○ 増加    ● 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他						
		引き続き現状の体制を維持し、事業を進めていく。						

事業に対する市民意見等						

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
		高くない				ない		
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他						
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他						

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

<b>整理番号</b>		<b>3 - 10</b>		<b>事業名</b>		女性のがん検診促進事業																
<b>総合計画</b>	テ　　一　　マ		2		健康でしあわせに暮らすまち																	
	施　　　　　策		1		保健・医療の充実																	
	施 策（小）		2		ライフステージに応じた健康づくりの充実																	
平成23年度担当		所管		健康推進室 保健推進課			課長		我妻 信彦		担当		鈴木 美佳		電話		72-3124		内線		9133	
平成22年度担当		所管		健康推進室 保健推進課			課長		我妻 信彦		担当		鈴木 美佳									
予算科目		会 計		一般会計					（ 4 款 1 項 3 目 ）			事業名		女性のがん検診推進事業費								
事務分類				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務    →（裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い）																		
実施形態				<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他																		
根拠法令、条例等				健康増進法、がん対策基本法、女性特有のがん検診推進事業実施要綱																		
事業期間				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 21 年度 ～ 未定 年度																		

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)				
	子宮頸がん検診:20・25・30・35・40歳 乳がん検診:40・45・50・55・60歳	両対象共通(H22.4.20現在、住民登録・外国人登録のある女性で年度中に対象年齢に達する者)	→	対象数 1,829 名	
			→	対象数 2,328 名	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	
	子宮頸がん及び乳がん検診の受診を促進し、がんの早期発見・早期治療を図る。				
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)			活動指標	
	・対象者に対して無料クーポン券及び検診手帳を個別に送付する。(※有効期限:実施年度の3月末まで)				
	<受診方法>				
	・個別検診～委託医療機関:子宮頸がん及び乳がん両方3ヵ所、子宮頸がんのみ3ヶ所、乳がんのみ2ヶ所				
	・集団検診～各自で申込を行う。				
事業の内容	<支払>				
	・委託機関の受診結果及び無料クーポン券で受診確認を行い、委託料を支払う。				
	・無料クーポン券発送前に市の検診を受診した対象者に対して償還払いを行う。				
	④事業実施の背景・個別計画等				
	H21年5月に国の経済危機対策として補正予算により実施した。				
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等				
	市民・議会等から無料クーポン券の継続要望がある。				
	⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果				

事業 の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		9,845	5,036	4,988
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円			5,017	4,988
	小計(A)			千円	0	9,845	10,053	9,976
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人		0.30	0.20	特定財源名及び補助率・充当率  感染症予防事業等国庫負担金(女性特有のがん検診推進事業) (1/2)
		正職員( )		人				
		従事正職員の人件費		千円	0	2,744	1,829	
その他間接経費		千円						
小計(B)		千円	0	2,744	1,829			
総コスト(A)+(B)			千円	0	12,589	11,882		
事業費の 使途等	・委託料 9,197千円(検診委託費、クーポン券作成業務委託) ・その他事務費等 856千円(検診手帳印刷、郵送料など)							

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	子宮頸がん検診クーポン発行数	枚	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	1,829	1,733	
			達成率				
	乳がん検診クーポン発行数	枚	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	2,328	2,297	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	子宮頸がんクーポン対象者受診率	%	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	33.3	39.0	
			達成率				
	乳がんクーポン対象者受診率	%	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	27.4	30.3	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				



課長評価(1次)								
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	必要最小限の経費で概ね効率的な事業実施が図られている。
		●	概ね達成			●	概ね効率的	
			達成していない				低い	
	成果の向上余地		かなりある	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	●	大きい	がん予防の啓発機会の減少と受診率の低下に伴う、健康保持及び増進などへの悪影響が予測される。
●		多少ある				小さい		
		さほどない				ない		
現状の課題		初回受診者及び若年者の受診率は従来よりも伸びているが、全体としての受診率向上に結びついていない。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ● 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他						
		若い世代や初回受診者が継続して受診できるよう、受診しやすい検診体制の整備と積極的な受診勧奨(時期・回数)を行っていく。						
	事業コスト	○ 増加    ● 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他						
		現行水準の事業継続を図るため、財政支援を引き続き国に要請していく。						

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
		高くない				ない		
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充   ○ 現行通り   ○ 改善   ○ 縮小   ○ 廃止・休止   ○ その他						
	事業コスト	○ 増加   ○ 現行水準   ○ 減少   ○ 予算なし   ○ その他						

# 平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	3 - 11	事業名	特定保健指導事業							
総合計画	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち							
	策	1	保健・医療の充実							
	策(小)	2	ライフステージに応じた健康づくりの充実							
平成23年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	竹瀬 麻紀	電話	72-3124	内線	9134
平成22年度担当	所管	健康推進室 保健推進課	課長	我妻 信彦	担当	鈴木 美佳				
予算科目	会計	国民健康保険事業特別会計 ( 8 款 1 項 2 目 ) 事業名 特定保健指導事業費								
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務         → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	高齢者の医療の確保に関する法律、特定健診及び特定保健指導の実施に関する基準									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 20 年度 ~ 永続 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市の国民健康保険加入者(40~74歳以下)の特定健康診査受診者のうち、保健指導レベルが「動機づけ支援」「積極的支援」に該当する市民。	→	対象数 220 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	メタボリックシンドローム、生活習慣病等の予防・改善、生活習慣に対する意識変化を促す。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	【特定保健指導】 特定保健指導の対象者に対し、 ・結果説明及び生活習慣改善のための面接を行い、特定保健指導を勧奨する。 ・保健指導の了承者へ生活習慣の改善が図られるよう「動機づけ支援」又は「積極的支援」により指導を行う。 ※「動機づけ支援」: 自主的な取組みを行えるよう支援／「積極的支援」: 自主的な取組みを継続して行えるよう支援 ・約6ヶ月後に身体状況、生活習慣の意識変化の評価、事後指導教室の開催 【その他管理事務等】 台帳作成、特定健診等データ管理、国民健康保険課への報告など。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成20年4月より施行された「高齢者の医療の確保に関する法律」、「石狩市国民健康保険特定健康診査等実施計画」に基づき実施		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
3ヶ月コースの事後指導教室を実施し、参加者の生活習慣の改善を図った。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
			国庫支出金	千円	108	31	66
			道支出金	千円	108	31	66
			地方債	千円			
			その他	千円			
			一般財源	千円	118	165	326
			小計(A)	千円	334	227	458
			正職員従事人数(担当課)	人	1.50	1.50	1.50
			正職員(両支所市民生活課)	人	0.46	0.46	0.46
			従事正職員の人件費	千円	17,376	17,926	17,926
			その他間接経費	千円			
			小計(B)	千円	17,376	17,926	17,926
			総コスト(A)+(B)	千円	17,710	18,153	18,384

特定財源名及び補助率・充当率  
 ・特定保健指導国庫負担金(基本額の1/3)  
 ・特定保健指導道負担金(基本額の1/3)

事業費の 使途等	・特定保健指導教室開催費 52千円 ・血管年齢測定器購入費(国保分) 269千円 ・その他事務費等 137千円
-------------	---

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	特定保健指導実施数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	130	110	73	
	目標: 特定健康診査等実施計画		達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位		H20	H21	H22	H23
	特定保健指導実施率	%	目標値	35	40	42	44
			実績値	50	45	33	
	目標: 特定健康診査等実施計画		達成率	141.4	112.5	79.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	対象者への指導がマンツーマンであることなど、綿密な指導内容となっているため、効率性は低い。
			概ね達成				概ね効率的	
		●	達成していない			●	低い	
	成果の向上余地	●	かなりある	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	●	大きい	
		多少ある				小さい		
		さほどない				ない		
現状の課題		特定保健指導の前提となる「特定健康診査」の受診率が極端に悪い。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ● 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他						
		積極的に個別勧奨を行い、実施率の向上を図る。						
	事業コスト	○ 増加    ● 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他						
引き続き現行水準を維持するが、外部委託によりコスト縮減が可能か検討を進めていく。								

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
			高くない				ない	
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充   ○ 現行通り   ○ 改善   ○ 縮小   ○ 廃止・休止   ○ その他						
	事業コスト	○ 増加   ○ 現行水準   ○ 減少   ○ 予算なし   ○ その他						

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

<b>整理番号</b>		<b>3 - 12</b>		<b>事業名</b>		地域医療支援事業							
<b>総合計画</b>	テ	一	マ	2		健康でしあわせに暮らすまち							
	施 策			1		保健・医療の充実							
	施 策 ( 小 )			3		地域医療・救急医療体制の充実							
平成23年度担当		所管		健康推進室 保健推進課		課長	我妻 信彦	担当	鈴木 啓之	電話	72-6124	内線	9132
平成22年度担当		所管		健康推進室 保健推進課		課長	我妻 信彦	担当	中川 正人				
予算科目		会 計		一般会計 ( 4 款 1 項 1 目 )				事業名		地域医療推進拠出金			
事務分類				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務            → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態				<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等				石狩市地域医療推進拠出金交付要綱									
事業期間				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	厚田区民	→	対象数 2,500 人
	社会医療法人 鳩仁会 あつた中央クリニック	→	対象数 1 施設
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	厚田区域内の地域医療を確保する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	区内に診療所を開設する「あつた中央クリニック」に対し、運営経費の一部を補助する。 (但し、3,000万円を上限とする。) ・補助金申請により、交付額を決定し概算払い(5月・11月)により交付する。 ・事業終了後は、速やかに(4月30日まで)実績報告書を提出する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	合併前に引き続き、「あつた中央クリニック」に対し拠出金を交付している。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
収支改善に向けた取り組みについて協議を行い、要綱改正などの一定の方向性を定めた。			

事業の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	12,500	12,500	14,300	12,500
	小計(A)			千円	12,500	12,500	14,300	12,500
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.01	0.01	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員( 厚)市民生活課 )		人	0.01	0.01	0.03	
		従事正職員の人件費		千円	178	182	365	
その他間接経費		千円						
小計(B)		千円	178	182	365			
総コスト(A)+(B)			千円	12,678	12,682	14,665		
事業費の 使途等	・石狩市地域医療推進拠出金 14,300千円							

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	年間診療日数	日	目標値	242	244	241	244
			実績値	242	244	241	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	年間受診者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	10,468	10,230	10,092	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	必要最小限の経費で概ね効率的な事業実施が図られている。
		● 概ね達成			● 概ね効率的	
		達成していない			低い	
	成果の向上余地	かなりある			妥当性	
● 多少ある		小さい				
さほどない		ない				
現状の課題		受診者数の減や診療報酬の変化により、収支が悪化傾向にある。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充   ○ 現行通り   ● 改善   ○ 縮小   ○ 廃止・休止   ○ その他				
		H24年度以降の拠出金の額について、過去の決算状況を勘案し決定する。 同時に、補助対象経費等の一定のルール化を図るなど、拠出金要綱の見直しを行う。				
	事業コスト	○ 増加   ○ 現行水準   ○ 減少   ○ 予算なし   ● その他				
		社会医療法人との協議内容によっては、事業費の増減が予想される。				

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他				
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他				

# 平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	3 - 13	事業名	浜益国民健康保険診療所運営事業							
総合計画	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち							
	策	1	保健・医療の充実							
	施 策 (小)	3	地域医療・救急医療体制の充実							
平成23年度担当	所管	浜益国民健康保険診療所	課長	木村 新吾	担当	佐藤 光弘	電話	79-3221	内線	
平成22年度担当	所管	浜益国民健康保険診療所	課長	木村 新吾	担当	佐藤 光弘				
予算科目	会 計	国民健康保険診療所特別会計 ( 1 款 1 項 1 目 )			事業名	一般管理事務費 外				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務   → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	石狩市浜益国民健康保険診療所条例									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 47 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか？)		
	浜益区民	→ 対象数	1,700 人
		→ 対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか？)		成果指標
	浜益区域内で診療を受けられるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	診療所の運営及び管理を行う。 ・診療及び放射線検査等の実施 ・調剤、製剤及び服薬指導の実施 ・診療報酬請求事務 ・国民健康保険診療所特別会計の運営 ・施設の維持管理		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	区民の健康保持、医療機会の確保のため、昭和47年8月に開設。昭和61年12月より現在の施設に移転し診療を行っている。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
区民から、運営維持への強い要望がある。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
防犯カメラシステム改修、誘導灯取替、排煙装置修繕、非常用照明器具取替。			

事業の コスト	事業費	財源 内訳		単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
			国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	40,759	36,052	34,265	34,728
			一般財源	千円	51,786	34,970	44,856	56,926
			小計(A)	千円	92,545	71,022	79,121	91,654
事業費の 人件費等		正職員従事人数(担当課)	人	7.50	6.50	5.50	特定財源名及び補助率・充当率  一般会計繰入金 事業勘定繰入金	
		正職員( )	人					
		従事正職員の人件費	千円	66,488	59,449	50,303		
		その他間接経費	千円					
		小計(B)	千円	66,488	59,449	50,303		
事業費の 使途等	総コスト(A)+(B)		千円	159,033	130,471	129,424		
事業費の 使途等	・診療、放射線検査、調剤等			50,196千円				
	・施設の維持管理等			28,925千円				

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	開設日数	日	目標値	294	293	294	295
			実績値	294	293	294	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	外来受診者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	12,067	11,648	11,856	
			達成率				
	入院患者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,192	1,070	1,188	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	事業の成果についての検証		達成	効 率 性	費用対効果の視点での検証		高い	事務事業の改善を図り、計画的な従事職員数の減少に努めており、概ね効率的な運営が図られている。
		●	概ね達成			●	概ね効率的	
			達成していない				低い	
	成果の向上余地		かなりある	妥 当 性	事業を縮小・廃止した場合の影響	●	大きい	医療機関を区外に求めることになり、地域住民の医療の確保が困難になる。また、救急出動回数的大幅な増加が見込まれることから、影響は大きい。
		多少ある				小さい		
		●	さほどない				ない	
現状の課題		浜益区の人口減少や、診療報酬点数の減額改定の影響等から、診療収入の減少傾向が続いている。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ● 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他						
		引き続き採算性の向上のため、診療体制の強化や経常コストの削減等の努力を行っていく。						
	事業コスト	○ 増加    ● 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他						
引き続き必要最小限の事業費で運営していくが、施設修繕や医療機器の入替えなどがあった場合は、事業費の増額が見込まれる。								

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長								
市民意見等に対する回答			反映							
			一部反映							
			不採用							
			実施済み							
			参考							
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い			
			概ね達成				概ね効率的			
			達成していない				低い			
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い			妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響			大きい
			高い							小さい
			高くない							ない
現状の課題										
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他								
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他								

# 平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号		3 - 14		事業名		後期高齢者医療特別会計運営事務(保健事業)													
総合計画	テ	一	マ	2	健康でしあわせに暮らすまち														
	施策			1	保健・医療の充実														
	施策(小)			4	その他														
平成23年度担当		所管		市民生活部 国民健康保険課			課長	新岡研一郎		担当	吉田洋一		電話	72-3125		内線	152		
平成22年度担当		所管		市民生活部 国民健康保険課			課長	上田 均		担当	吉田洋一								
予算科目		会計		後期高齢者医療特別会計 ( 4 款 1 項 1 目 )						事業名		健康診査費							
事務分類				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務            → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)															
実施形態				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他															
根拠法令、条例等				高齢者の医療確保に関する法律、北海道後期高齢者医療広域連合健康診査実施要綱															
事業期間				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 20 年度 ~ 未定 年度															

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	75歳以上(一部65歳以上)の後期高齢者医療制度の被保険者	→	対象数 6,595 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	生活習慣病の重症化を抑えるため、生活習慣病の早期発見及び予防を行ない、被保険者の健康の保持増進を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	・北海道後期高齢者医療広域連合との契約に基づき市が実施する健康診査(受託事業) 集団・個別方式などの実施方法や実施期間を定め健診機関等と委託契約により実施し、健診事業が終了後、広域連合に費用を請求する。 ・石狩市後期高齢者医療被保険者に係る脳ドック・人間ドック検査費用の助成 市国民健康保険の同事業と調整し、実施方法や実施期間を定め健診機関等との委託契約により実施し、健診事業が終了後、広域連合に補助金実績報告書を提出する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく保健事業として実施。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
脳ドック・人間ドック検査を実施し、被保険者の健康の保持に努めた。			

事業の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	1,487	1,200	2,949	6,427
			一般財源	千円	30	20	317	318
	小計(A)			千円	1,517	1,220	3,266	6,745
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.30	0.30	0.30	特定財源名及び補助率・充当率  ・広域連合からの受託 事業収入 ・長寿・健康推進事業費 補助金
		正職員( )		人				
		従事正職員の人件費		千円	2,660	2,744	2,744	
その他間接経費		千円						
小計(B)		千円	2,660	2,744	2,744			
総コスト(A)+(B)			千円	4,177	3,964	6,010		
事業費の 使途等	・保健事業費(委託料)				2,741千円			
	・需用費(受診券印刷、トナー等)				125千円			
	・役務費(郵送料)				400千円			

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	健康診査実施医療機関	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	11	11	21	
			達成率				
	脳ドック・人間ドック実施医療機関	件	目標値	-	-	未設定	未設定
			実績値	-	-	5	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	後期高齢者医療健康診査受診者数	人	目標値	6,110	5,954	6,317	6,500
			実績値	183	257	266	
			達成率	3.0	4.3	4.2	
	脳ドック・人間ドック健診受診者数	人	目標値	-	-	80	80
			実績値	-	-	72	
			達成率			90.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	達成 概ね達成 ● 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	高い 概ね効率的 低い	広域連合などの特定収入を活用し、最小限のコストで実施している。
	成果の向上余地	かなりある 多少ある ● さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	被保険者の健康保持や生活習慣病の重症化の予防機会が減る。
現状の課題		・既に健康診査実施医療機関以外に受診しており、改めて健康診査を受診する必要の無い被保険者が多い。 ・脳ドック・人間ドック検診については実施期間終了近くにキャンセルする者がある。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 健康診査については現状どおり継続する。脳ドック・人間ドックについては、受診できる人員が限定されているので、選ばれた方は機会を逸することなく期間内に100%受診するよう積極的に勧奨を行っていく。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 連合会からの特定収入を活用し、引き続き最小限のコストで事業を継続していく。				

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
		高くない				ない		
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充    ○ 現行通り    ○ 改善    ○ 縮小    ○ 廃止・休止    ○ その他						
	事業コスト	○ 増加    ○ 現行水準    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他						

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

施策／事業名		評価意見案もしくは確認事項等	回答								
総論・共通事項等		●総合計画P21において、①～③の健康・医療の充実について施策推進にむけて各々基本的考えを教えてください。 (保健推進課)	総合計画の施策を具現化するために、市では本年6月に「石狩市健康づくり計画」(平成23～27年度)を策定しました。この計画は、市の基本的な健康施策の方向と具体的な取り組みを示す内容となっており、生涯を通じた健康づくりを実施することで、健康寿命を延伸し、心豊かに生活できる社会の実現を目指しています。 総合計画の①～③の内容についても、健康づくり計画の施策の体系に位置付けて、具体的な取り組み事項を記載しています。								
		●施策全般にみられますが、 <u>職員の人件費・医療機関への補助・その他</u> の分類になると思います。その <u>投資分類</u> を3つに分けて集計してください。人件費と補助が大半でその他は少ないように見られますが、これでは施策検討の意味がないように思えます。そのオーダーを知りたくお知らせください。(保健推進課)	<table><tr><td>総コスト</td><td>323,745 千円</td></tr><tr><td>① 職員人件費</td><td>164,444 千円 (50.8%)</td></tr><tr><td>② 医療機関への委託料等</td><td>138,951 千円 (42.9%)</td></tr><tr><td>③ その他</td><td>20,350 千円 ( 6.3%)</td></tr></table>	総コスト	323,745 千円	① 職員人件費	164,444 千円 (50.8%)	② 医療機関への委託料等	138,951 千円 (42.9%)	③ その他	20,350 千円 ( 6.3%)
		総コスト	323,745 千円								
① 職員人件費	164,444 千円 (50.8%)										
② 医療機関への委託料等	138,951 千円 (42.9%)										
③ その他	20,350 千円 ( 6.3%)										
●浜益地区の医療負担は多いですね。これらは、旧石狩地区、厚田地区、浜益地区の市民1人当たりの比較を金額で示していただけませんか。(保健推進課、浜益国民健康保険診療所)	地区別の一人あたり医療費に関する資料は、現在ございませんので、全市での数字になります。  平成20年度 324,105 円      平成21年度 329,298 円										
個別事業	地域健康づくり支援事業 (保健推進課)	●町内会住人、高齢者を対象とするとありますが、参加者をどう開拓するかが、啓蒙の柱となると思いますが、参加人数の目標値としてどれくらいを、今後の方針などを聞かせて下さい。	具体的な目標値は、前年度より参加者数を数名でも増やしたいと考えています。参加者の開拓については、町内会や高齢者クラブに事業のPRが必要と考え、H21 年度から連合町内会の集まりや、ウォーキング事業を活用し、町内会で健康教育や健康相談を実施できることを町内会役員に伝えています。町内会の事業も参加者の固定化が見られることから、お互いに参加者の開拓や地域の健康づくりについて連携して取組んでいきたいと考えております。								

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

		●対象数が不詳になっていますが何故ですか。	対象に「障がいなどで医療や健康の支援が必要な方」となっているが、障がい者以外の成人・高齢者の健康に関する相談や家庭訪問も行っています。以前から関わっている方以外に新規に関わり始めるケースも多いことから、対象者数は不詳としています。
		●健康づくり講座、年４回実施で延べ参加者数は。	花川南栄町内会健康づくり講座４回 延 113 名参加。
		●講座が花川南地区のみで開催されていますが北での開催は。	健康づくり講座に関しては、H21 年度にスポーツ健康課が実施しているウォーキング事業の実施地区（花川南）で、健康づくりに関して定期的に活動を実施したいと依頼のあった町内会で開催しました。H22 年度は花川北・花畔・緑苑台地区でもウォーキング事業を実施しており、依頼があれば実施していきたいと考えています。
		●道支出金の８千円はどの事業に対する補助金ですか。	町内会や高齢者クラブ等の健康教育に対する消耗品・講師代などが補助金の対象となっています。
		●活動指標・成果指標の地域健康教育・健康相談実施回数と参加者が H21 年に大きく増えているのは。 ●地域健康教育・健康相談参加者数が H21 に比べて H22 では半減しています。その理由は何ですか。	●H21 年度は「ねんりんピック」という大きなイベントがあり、そのイベントやスポーツ健康課のウォーキング事業を利用した健康教育・健康相談で実績値が増えています。 ●H22 年度は大きなイベントはなかったが、ウォーキング事業や健康づくり講座などで H20 年度に比べて実績値は増えています。
		●家庭訪問件数は、経費がかかると思われますが、指導・訪問者の経費負担は生じないのでしょうか。	正職員が家庭訪問を実施しているので、事業コストとしてはほとんどが人件費であり、他の経費負担はわずかとなっています。
		●現状の課題でキーパーソンの発掘とありますが発掘の手法として考えられていることは。	健康教育で関わりを持った町内会や高齢者クラブのリーダー的人材と継続的な連携を図るなかで、人材の発掘を行っており、地域への働きかけが重要と考えています。
	こころの健康推進事業 (保健推進課)	●自殺者等の記述について、講演会や研修会というよりも民生委員との連携による密着型対応が必要であると思われすがどのようにされているのでしょうか。	民生委員との連携は重要であると考えています。死にたいと考えている人の相談に乗るには知識や心構えも必要なので、平成 23 年度は民生委員に対するゲートキーパーの研修を実施する予定です。

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

	●講演会など啓蒙のために出向き、健康充実に取り組む指導者の数は、現在、適数でしょうか。	現在のところは、市の精神保健担当保健師や江別保健所との連携のもと対応していますが、今後は啓発用の DVD を活用し担当外の保健師も地域で講習ができるように研修を行うこととしています。
	●目的にある地域の関係機関とは。	自殺者は経済問題、健康問題、家族問題、勤務問題等様々な問題を抱えており、市役所内の相談窓口、精神相談の窓口のほか、民間の相談事業所、民生委員、企業なども関係機関としてとらえています。
	●市民向け講演会の内容は。	平成 21 年度「ただいま心の充電中」～あなたが大切な人を喪わないために～をテーマにして、精神科医師による講演と個別相談会を実施。 平成 22 年度「あなたのこころは元気ですか」～気付いてください、あなたの周り SOS～をテーマにして、精神科医師による講演と「自殺予防と法的支援」をテーマにして、司法書士による講演を実施。
	●ゲートキーパー養成研修の開催日程と内容は。	ゲートキーパー養成研修は、年内に民生委員と相談窓口担当者を対象に実施予定。内容は、精神科医師による講話や保健師によるロールプレーイと自殺予防ハンドブックを活用した研修等を予定しています。
	●企業向け P R とは。	多くの従業員が働く新港内企業に対し、FAX や郵便により、こころの健康に関する啓発や出前講座の案内を行っています。
	●受け皿としての相談体制の整備とありますが、何時を目途にどのような体制整備を考えていますか。 ●相談窓口は、設置されたのでしょうか。	当面は、相談に携わる多くの人がゲートキーパーの役割を果たせるように継続的な研修を行い、個々のスキルアップを図っていくこととしています。 市の機能としては、自殺や心の相談に特化した相談窓口の設置は現実的には難しいと考えておりますが、既存の保健師による相談体制や 24 時間相談可能な「いのちの電話」、相談内容に応じた専門の相談機関の周知などで対応しています。

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

	保健センター管理運営事業 (保健推進課)	●保健センターの事業状況を教えてください。投資効果として意味のあることなのかについてお考えを教えてください。	地域保健法に基づいて設置している施設であり、区民に対し、健康相談、保健指導および健康診査その他地域保健に関する必要な事業を行っており、「りんくる」と同様の役割を厚田区において果たしています。
		●管理運営費のみの予算ですが H23 年度のその他の金額は。	H23 年度の 27 千円については、社会福祉協議会の行政財産使用料の共益費分になります。
		●一般開放の利用者数が減少して P R を行うとしていますが、現在も行っていることなのではありませんか。開館日数からすると土日や祝日が休館ですか？仕事を持っていたり学生は平日の利用は難しいのでは。	保健センターの開館時間は条例において、平日の午前 8 時 45 分から午後 5 時 15 分までと規定されており、土日や祝日の開放は行っておりません。現有の運動機器は多目的室に設置しており、各種健康指導の中で使用する意図で設置されていることから、一般開放として利用できる日程にも制約があるのが現状です。そのような制限がある中で、区民の健康づくりのため、平日日中の一般開放利用率を高めるよう、P R を展開しようとしているものです。
		●検診・介護予防などで利用される住民数は定常状態かと思われ ますが、運動用具などの利用者数が減少している理由は、遊具・ 運動器具の老朽化によるものでしょうか。 ●運動器具の充実で、改善されると予測されるのでしょうか。	今年度になり運動機器の一部が老朽化しメンテナンスが必要になった現状もあり利用減の一因になっているとは考えられます。 運動機器の利用がきっかけで運動教室への参加に繋がったり、ウォーキングをする住民が増加している傾向もあり、運動で健康づくりという住民の意識を高め、住民自ら健康づくりができるよう運動機器の適切な管理が必要と考えます。
	浜益保養センター管理運営事業 (地域包括支援センター)	●地元客の優待とは？地元は浜益区のみですか。	(施策「観光の振興」で回答)
		●利用料金の金額を年度毎に教えて下さい。何処に入りますか。	
		●施設維持管理の内訳を教えてください。	
		●利用者の高齢化に伴い、施設の利便性確保が重要かと思われ ますが、今後の施設改善は計画されておられるのでしょうか。	
		●利用者の減少を食い止める方策をどうするか。	

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

成人検診事業 (保健推進課)	<p>●がん検診の受診率が低下してきていると言うが国保の加入者は市からは特定健康診査と合わせて受診しましょうと案内してきています。特定健康診査も受診率は低下しているのでしょうか？</p> <p>また特定健康診査にがん検診を組み合わせることはできないのでしょうか。</p>	<p>特定健康診査は国民健康保険課事業ですが、参考までに受診率はH20年度 10.7% (20%)、H21年度 10.8%(30%)と目標値 ( ) 内より大幅に低下しています。</p> <p>また、特定健康診査とがん検診を組み合わせる受診できる機会はH20年度当初より設けています。今年度では集団検診では胃がん・肺がん・大腸がん検診の組み合わせで 13 日間、バス送迎検診では胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診との組み合わせが可能で 12 日間、個別検診では検診機関や市内医療機関において委託可能な範囲で同時実施の機会を設けています。</p> <p>他に H22 年度より国民健康保険課事業の「人間ドック検診」では特定健康診査と胃がん・大腸がん検診とセット検診の機会も設けています。</p>
	<p>●検診率を上げる取り組みが重要であることは理解出来ます。受診者を増やすための、これまでの取り組みがあれば、聞かせて下さい。</p>	<p>市広報、町内回覧、周知の重点年齢を決めて個別通知、各種保健事業（乳幼児健診や健康教育など）の機会でのPRリーフの配付、検診委託機関にポスターを掲示、国民健康保険健康診査受診券送付時にリーフの配付、利便を検討し委託検診機関を増やす、身近な町内会館での検診などの実施。</p>
	<p>●高齢者の受診対象者、現在働いている者の受診状況の把握（市役所管轄部署）はあるのでしょうか。</p>	<p>就労者で検診の機会のある方や治療中の方で検診対象外になる人数など正確に把握することは困難な状況です。今後は健康づくり計画に記載しているとおり 40～59 歳を対象に抽出して実態調査を実施していき動向を把握していく予定です。</p>
	<p>●検診受診数目標値はどのように算出しているのか</p>	<p>成果指標の検診受診数目標受診率は健康いしかり 21 (H15 年度) の計画においてがん検診の目標を 17%としています。</p> <p>活動指標の目標値は予算措置数としており、前年度の受診数をベースに積算しています。</p>

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

	健康増進事業 (保健推進課)	●フリープラン事業について教えてください。	健康増進事業の1つで、りんくる3階の健康増進室を活用し、健康づくりに効果的な運動指導を実施する事業。対象は18歳以上のおおむね健康な市民。利用者は問診・体力測定を受け、個人にあった運動プログラムを作成してもらい運動指導を受ける。その後は開設日に自由に室内のマシンを利用して運動をしてもらい、自分自身の健康づくりに役立ててもらっています。その際には運動指導士(員)が常駐して運動指導にあたり、食事面は栄養士が個別相談を実施しています。
	母子相談・指導事業 (保健推進課)	●5歳児健康相談が4回開催され72人の参加とですが幼稚園、保育園に在籍している子どもだけですか。 また、幼稚園や保育園に在籍していない子どもへの対応は。本格実施した場合の事業費は。	H22年度実施の5歳児健康相談は市内保育園・幼稚園のほか、りんくるで2回実施しています。例年就学児の100名程度が市外の園を利用しており、市内園で受けられない場合や未就園の児には広報で周知し対応しています。本格実施した際は保育園12か所、幼稚園5か所での事前・事後カンファレンス、当日、その他園への巡回訪問、関係者・保護者学習会、りんくる実施分等の経費が見込まれます。
		●事業展開の全園拡張は、予算上成り立ちますか、理想的には良いことなのですが。	予算の殆どは人件費（臨床発達心理士への報償費）のため、非常勤等の臨床発達心理士の配置も考える必要があります。平成22年度からの試行なので、事業の進め方、評価の仕方、事後支援の方法等、予算面のみならず体制面等についても課題の把握に努めているところであります。
	母子健康診査事業 (保健推進課)	●それぞれの健診率は。	4か月児～99.7%、10か月児～97.4%、1歳6か月児～96.2% 3歳児～87.3%
		●妊婦健康診査の受診票を発行することで効果は表れましたか。	以前は妊娠中に2回の公費負担であったがH20年度には5回、H21年度からは14回の公費負担を実施しています。市内でも飛び込み出産の事例はあるものの、妊婦健診での自己負担が以前よりも少ないため母が病院にかかりやすい状況であり、妊娠中の疾病の早期発見に効果があったと考えています。

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

		●乳幼児健診への保護者の要望とは。	「待ち時間を短くしてほしい」という要望が最も多く、次いで「実施時間帯を午前にしてほしい」という要望があります。（医師の確保上困難）
		●一般財源が主であり、それも人件費と読み取れます。コスト削減をどうするか。	医師報酬や臨床発達心理士の報償費は、他市町村より低い状況であり、これ以上の人件費に係るコスト削減は難しい状況です。
	赤ちゃん訪問事業 （保健推進課）	●訪問拒否しても健診には来ているのか。	4か月健診の受診率はH20が99.8%、H21が98.6%、H22が99.7%と高い数値であり、訪問が出来なかった場合には4か月健診で状況確認が出来ている。4か月健診はBCGを同時実施しているため、疾患で入院中等の場合を除き、ほぼ全数が受診している。訪問未実施者については健診時、なぜ訪問できなかったのか状況確認を行っています。（面倒くさかったから、人を家に入れるのが嫌、夫やパートナーが人を家に入れることを嫌がる等が大半の理由）
		●赤ちゃんの対象者数が減少していく中、訪問保健婦さんの指導・訪問回数が減るわけでもなく、今後の対応をどうするか。具体策はありますか	H19年の事業開始当初は訪問実施率が86%であったが、H22年度は97.9%の訪問実施率となっており、出生数は減少しているが訪問件数は横ばいの状況にある。そのうち35.8%が支援を必要としている家庭であり、母の育児不安やサポートを得られにくい状況、複雑な家族状況、産後うつ傾向などで要支援となっている。要因としては育児のイメージが持てないままの妊娠・出産であったり、母自身が愛情を受けて育った実感がなく家族形成が出来ない等の状況があります。現在は母子手帳発行時に全妊婦と保健師が面接を実施し、リスクの早期把握に努めています。その他、妊娠中の育児教室の開催や両親教室参加への積極的勧奨を行うほか、思春期から将来へのビジョンが持てるような関わりを学校保健とも連携し検討していきます。

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

	女性のがん検診促進事業 (保健推進課)	●無料クーポンの現状と今後の必要性についてお考えを教えてください。	H21 年度より本事業に取り組んでから、子宮頸がん検診、乳がん検診とも全体の受診率が初年度 5 % 程度上昇し一定の効果があったものと考えております。市としては、本事業の一定の成果は認められるものの、受診率の現状を鑑みますと、さらなる対策の強化が必要であると認識しておりますので、引き続き国への財政支援の要請活動を行って参ります。
		●受診率向上をどう目指すか、難問ですが、部署としてどのような方策を考えておられますか。	従来の周知啓発活動はもとより、未受診者に対して個別勧奨通知を送付するとともに、今年度からは未受診の理由を把握する取り組みを行なうこととしていますので、課題やニーズを分析しさらなる対策を検討していきます。
	特定保健指導事業 (保健推進課)	●特定保健指導実施が平成 22 年度急に下がっているのは。	・ H20、21 年度の指導対象が増えてきており、本人より拒否する事例多くなってきています。 ・ 6 ヶ月の実施期間が継続できず中断する対象も増加しています。
		●受診対象者をいかに受診させるかが問題解決なのでしょうが、受診する気がない市民にどう説得すれば受診するようになるか。国の施策であれば廃止する事も出来ないし、戸別訪問や受診勧誘の印刷物を郵送する手段でしょうか。担当課としての方策はあるのでしょうか。	特定保健指導は「受診」ではなく、生活習慣改善のための目標を立て 6 ヶ月後に評価する「指導」の機会となります。対象者には戸別訪問はしていませんが、全員に指導の必要性を記載した個別通知は送付をしています。健診は受けても指導まで受ける必要性を感じない対象者が多いこと（拒否が多い）が大きな要因と捉えています。今後は重点指導対象者を決めて電話勧奨を実施していきます。
	子宮頸がん等ワクチン接種事業 (保健推進課)	●子宮頸がんワクチンの説明会にはどの程度の参加があったのか、また、その中でリスクについての説明がされたか。	市内 3 会場（八幡コミセン、花川南コミセン、花川北コミセン）で説明会を実施し、総計 50 名程度の参加があり、委託医療機関の医師による子宮頸がんの基礎知識、予防ワクチンの効果・副反応、接種方法などを説明。また、リスクの説明に関しては、接種対象者及び保護者に対し、事前に個別通知により説明文書を同封して理解を促しました。

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

		●今後も説明会は毎年行われますか。	国による補助事業期間が H22 年度～H23 年度であり、H23 年度も実施予定ではあるが、ワクチンの供給不足により初回接種を見合わせている状況のため、今後の見通しは不明です。
新型インフルエンザ ワクチン接種助成事業 (保健推進課)		●H21に比べてH22では、道支出金が半分以下になっていますがその理由を教えてください。	H21 年度の実績 2,277 人接種。補助事業に要した費用 8,815 千円 H22 年度の実績 1,212 人接種。補助事業に要した費用 3,518 千円 接種者が H21 と比較して減少したため、道支出金が半分以下となっています。 要因として H21.5 月の国内発生から全国的に流行したことで接種者が一時的に増えたが、H21.11 月には全国的に患者数のピークが過ぎ、その後減少に転じたことからと推測します。
母子健康手帳等交付 事業 (保健推進課)			
感染症等予防対策事業 (保健推進課)		●予防接種委託料が、なぜ 4,000 万への補助を市が負担するのかその仕組みを教えてください。	予防接種法により、定期予防接種は市が実施主体とされており、その経費は全額公費負担となっています。
地域医療支援事業 (保健推進課)		●一般財源としての 14,300 千円は厚田クリニックへの補助なのか。	運営経費の一部を補助しています。
		●医療従事者は。	医師 1、看護師 2、事務職 2、その他（掃除婦） 1
		●従事正職の人件費とは？H22 年は倍になっていますがどうして？	厚田支所職員による事務の指導及び調整等の増によるものです。
		●土曜日・日曜日・夜間の診療体制は？	土曜・日曜日は休診日 火・木曜日のみ夜間の診療あり（17：00～19：00）
		●今後の方向性に過去の決算状況を勘案し決定とありますが、過去の拠出金の額は。	H17 13,000 千円、H18 12,306 千円、H19 12,193 千円、 H20 12,500 千円、H21 12,500 千円、H22 14,300 千円

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（保健・医療の充実）

		<p>●住民の減少などを考慮しても、無くすることは不可能であり、受診者数の減少がどのような理由なのでしょう。</p> <p>人口減なのか、住民の意識改革による健康増進に努めた結果なのか、知りたいです。それにより、収支がどうなのか、分かるのではないのでしょうか。</p>	<p>送迎バス利用による受診者数が年々減少していることで外来診療収入が減少していると推測されます。今後も収支の好転は見込めない状況ですが、経営努力による改善を促していきます。</p>
<p>浜益国民健康保険診療所運営事業 （浜益国民健康保険診療所）</p>	<p>●コスト削減で人件費の削減は見られていますが、採算性アップの具体的な方策はどうなっていますか。</p>	<p>●医療機器の経年変化による老朽化は止むを得ない事であり、受診者数なども横ばいであることから、運営をどうすべきか。難問ですね。人件費を削れば、サービス低下になりますし、担当部課としての問題解決は有りますか？</p>	<p>採算性アップの具体的な方策は特にはないが、運営経費等の節減に努めている現状です。</p>
	後期高齢者医療特別会計運営事務（保健事業） （国民健康保険課）		
	健康づくり計画策定管理業務 （保健推進課）		
	重度心身障がい者医療費給付事務 （国民健康保険課）		
	後期高齢者医療特別会計運営事務（資格・給付） （国民健康保険課）		
	後期高齢者医療特別会計運営事務（賦課） （国民健康保険課）		